



教祖140年祭に向かい「諭達第四号」ご発布 仕切って成人の歩みを

立教185年 秋季大祭

立教185年秋季大祭は、10月26日中山大亮様を祭主に本部神殿で執り行われた。

おつとめの後、神殿上段に進まれた中山善司真柱様は、教祖140年祭活動の指針となる「諭達第四号」を発布された。

真柱様は諭達を読み上げられた後、「年祭を勤める意味は昔から変わらない。勤める人の気持ち、定命を縮めて身をかくしてまでも子供の成人をお急ぎ込みくだされたをやの思いを思い起こして、年祭を目標に仕切って成人の道を歩み、その実をもってお応えしよう」と勤めてきたことには変

第639号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当目1番地

TEL 054-626-1333

Fax 054-628-4615

Email:skyou@live.jp

わりがなかったし、その基本精神は今後も変わってはいらない」と述べられた。

そのうえで、時の流れとともに、年祭を勤める人の顔ぶれが変わって行く中で、「当然のことながら、年祭の意味や、どういう気持ちで勤めるか分からない人もいる」と指摘。全教が心を揃えるためにも、知らない人は年祭の意味を知り、をやの思いに沿わせてもらおうと積極的に歩む気持ちになつてもらおうための材料として、この「諭達」を利用してもらえば、と話された。

『天理時報』

立教185年11月2日号より抜粋

立教185年

少年会静岡教区団総会を開催



続く式典では、開会の

10月30日(日)、「立教185年少年会静岡教区団総会」が少年会員75名、育成会員36名、合計111名の参加のもと開催された。

当日は午前10時より、村田団長を芯に親神様、教祖、祖霊様を礼拝。座りづとめ、よろづよ八首を各支部代表者によつて教務支庁神殿の上段で月次祭形式でつとめ、他の参加者は総立ちでてをどりをつとめた。



辞の後、少年会長様の御告辞を教区育成会長(教区長)が代読。そして育成会長よりご挨拶をいただいた。ご挨拶ではご告辞の中の、教会へ参拝しておつとめをしましう、ひのきしんをしましう、おちばがえりをしましうという三つのお話をわかりやすくお話しいただいた。



そして、過去サマースクールに参加した3年生に記念品が授与された。続いて「少年会のちかい」を全員で唱和した。引き続き「少年会のちかうた」を斉唱し、閉会の辞となった。

小休憩の後、少年会員を対象とした「大抽選会」を開催。最後に村田団長よりあいさつがあり、昼食を頂いて解散した。

全教一斉にいがけデー 各支部からの報告

東伊豆支部



当支部ではコロナ禍の影響により2年ほど、拠点を設けての活動は見合わせていたが、コロナ感染症も収束に向かいつつある状況から、支部内の2つの組ごとに拠点を設けて、3日間路傍講演・神名流し、戸別訪問等を行った。

9月28日は、熱海市の来宮駅前(教会長5名、ようぼく1名参加)、及び伊東駅前(教会長2名、ようぼく1名参加)

加)、又伊豆急下田駅前(教会長5名、ようぼく1名、信者1名参加)、伊豆急河津駅前(教会長3名参加)の各所で路傍講演がとめられた。29日と30日には3拠点で、おつとめ、チラシの読み合わせの後、戸別訪問をとめさせて頂いた(教会長延べ13名、ようぼく延べ11名)。

伊豆支部



28日、支部内で1. 2組はJR三島駅、伊豆箱根鉄道三島広小路駅、伊豆長岡駅、修善寺駅と四カ所で、3. 4組は戸田漁港交差点、土肥花時計前、仁科セブンイレブン前、松崎セイジョー前の順に路傍講演を行った。2日目は支部全体で三島市内を3カ所に分かれて実動。最終日は1. 2組は三島市東大場団地、旧3組は伊豆の国市立花台、3・4組は各自で回った。

駿豆支部

3日間とも組毎に、路傍講演・個別訪問・神名流し・リーフレット配りを行った。

富士支部

3日間とも支部活動として、路傍講演・よろづよ八首奉唱・神名

流し・リーフレット配りを行った。
東駿支部
台風15号の影響で県内は甚大な被害を受け、支部管内は巴川の氾濫で浸水被害、更には興津川取水口は流木土砂等で塞がれ、同じく上流では水管橋が破壊された。28日時点で6万戸以上が断水。この為東駿支部では駅前路傍講演から急遽被災地に、興津分教会を拠点として届けられた飲料水や数々の支援物資にリーフレットを添えて配布した。これまでにない助け合いの汗を流したにいがけデーとなった。

中駿東支部

28日を路傍講演の日、29日は組ごとに分かれてのにいがけ、

30日は各教会、布教所での活動とさせていたできました。

中駿西支部

3日間とも支部活動として、戸別訪問を行った。



西駿支部

3日間とも組毎に、路傍講演・神名流し・リーフレット配り・戸別訪問を行った。



中遠支部

3日間とも2・3・4・5組が組毎に、路傍講演・神名流し・リーフレット配り・戸別訪問を行った。



西遠支部

3日間とも路傍講演・神名流し・リーフレット配り・戸別訪問を行った。



教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



北遠支部
全教一斉にをいがけデーには、組ごとに、路傍講演、神名流し、又、リーフレット配り、個別訪問を実施しました。神名流しも3年ぶりでしたので、大いに勇ませていただきました。

秋の叙勲・褒章 桑高益男氏が藍綬褒章受章



令和4年の秋の褒章が11月3日付で発令され、静岡県内で公共的な職務に貢献した人に授与される藍綬褒章に、桑高益男氏（駿遠分教会前会長・教区三連盟委員長）が選出されました。

氏が平成8年に保護司として着任する以前より、罪を犯した青少年らの更生に携わって来たことが高く評価され、今回の授章となりました。
氏曰く、活動の原点は「若い頃はやんちゃな振る舞いをしてきた

が、その後多くの人の更生に取り組んだ」という先代（桑高清一駿遠分教会四代会長）の姿にあるとのこと。「一度道を踏み外したとしても人生を好転させるきっかけはある」と考え、それぞれの居場所づくりに努めてきたということです。
氏は、「年を重ねるごとに体の不調も出てきたが、子供たちが成長するためには、『地域のじいさんばあさんの世代』の役割も大きい。体力の続く限り、今後も青少年を温かい視線で見守っていきたい」とし、「今後お果たすけ心で地域への社会貢献をしたい」と思いを述べられました。

第49回全教野球大会 山名大教会チーム出場



第49回全教野球大会が10月28日、3年ぶりに親里にて開催。静岡教区代表として山名大教会チームが出場しました。

全教野球大会は、参加対象がようぼくと
なっており、スポーツを通して健康を感謝し、ようぼく同士の親睦を深め、地域活動の一助となることを目的に開かれています。これまで布教部体育活動事務局主催だったが、

本大会より目的そのままに全教野球大会実行委員会の主催でおよさと球場、天理大学野球場、白川など親里管内4カ所にて開催されることとなりました。
山名チームは、一回戦で滋賀教区代表の日野大教会チームと対戦。天理大学野球場で行われた熱戦では、初回から先制点を許し、3回には追加点と敗戦濃厚のワンサイドゲームに。しかし4回の攻撃で4点、最終回にも2点を取り、盛り上がってきたところで反撃及ばず、6対9で敗れました。
今後は、中席者枠を生かしたチーム作りに向けて、にをいがけ実動、別席者の丹精に励むことを誓い、解散しました。



災害救援ひのきしん隊
引き続き勇んで実動

令和4年 台風15号 静岡教区災害救援ひのきしん隊出動記録

10月12日以降の出動記録

日付	活動地域	活動内容	活動人員
10月12日	葵区落合地区	被災者宅 床下泥出し、土嚢積み、周辺の土砂かき出し	14
10月13日	葵区落合地区	被災者宅 床下泥出し	18
10月14日	葵区落合地区	被災者宅 床下泥出し、損壊した倉庫一部解体撤去、	22
10月18日	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出	8
10月19日	磐田市豊岡地区	被災者宅の泥出し、ゴミ出し、ゴミ搬出	9
10月20日	磐田市豊岡地区	道具、資材等の撤収、掃除、整理（磐田サテライト閉所）	9
10月21日	磐田市豊岡地区	畳、襖などの搬出2件、道具、資材等の撤収、掃除、整理（磐田ボランティアセンター閉所片付け）	8
10月27日	清水区押切・弥生町・鶴舞、若竹公園上みかん畑	午前 被災者宅泥出し、床入れ、断熱材除去 午後、みかん畑の土砂除去作業	29
10月28日	静岡市清水区	被災者宅一軒 床下泥出し、みかん山瓦礫処理、	45
10月29日	静岡市清水区高山	被災者宅1件 住宅周りの土砂運搬	23
10月30日	静岡市清水区高山	被災者宅6件 床下断熱材剥がし、運搬、泥出し、瓦礫運搬	41
10月31日	静岡市清水区高山	床下断熱材剥がし、運搬	7
11月1日	静岡市清水区高山	床下泥水排出（ドラム缶4杯以上）	7
11月5日	静岡市清水区庵原地区	みかん山の埋没したモノラックレール掘り出し作業	5
11月7日	静岡市清水区庵原地区	みかん山の埋没したモノラックレール掘り出し作業 床下泥だし、土砂、倒木撤去	32
11月8日	静岡市清水区庵原地区 静岡市清水区河内地区 静岡市清水区中河内地区	みかん山倒木撤去完了、 裏山土砂崩れ、家北側及び家屋内の土砂撤去、災害ごみ等搬出 流入土砂撤去完了。板壁、トタンの解体完了、災害ごみ等搬出完了	23
11月9日	静岡市清水区河内地区 静岡市清水区中河内地区	裏山土砂崩れ上の竹等の刈取り完了、家北側の土砂撤去 流入土砂撤去、板壁撤去、トタンの解体	19